

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ラウレアama		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様に安心して楽しく通っていただける環境づくりを行っております。	・職員がお子様一人ひとりの性格やその日の気持ちに配慮をし、無理のない支援を心がけております。 ・活動の参加の有無はお子様の意思を尊重しており、強制ではなく自分の意志で決めることで、無理のない支援を大切にしております。	・お子様の興味や成長段階に応じて活動内容を定期的に見直し、より楽しさと達成感を感じられる支援を行ってまいります。 ・お子様が「できた」「楽しかった」と感じられる場面を増やし、自己肯定感を育てる支援を強化してまいります。
2	・職員はお子様一人ひとりに沿った丁寧な関わりを意識し、小さな変化や気づきについても、送迎時や連絡帳等を活用して保護者様へ迅速に共有しております。	・保護者様への連絡において、些細な変化や様子を丁寧に伝えることを大切にしております。	・保護者様との情報共有を大切にし、安心していただける支援を目指してまいります。
3	・イベントを工夫し固定化しないようにすることで、お子様が飽きないイベントづくりを心がけております。	・季節行事やイベントを取り入れ、お子様が楽しみに通所できるよう工夫を行っております。 ・職員間で意見を出し合い、検討をしながらイベントを企画し、固定化しないように意識しております。	・お子様の反応や意見を取り入れ、活動内容の見直しや改善を行ってまいります。 ・安全面に配慮しながら、活動の幅を広げてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員体制について、より安定した運営に向けて改善の余地があります。	・職員によって対応力に差やばらつきが見られるため、職員同士で共有・研鑽しながら全体の対応力を高めていく必要があります。	・職員間で支援方針や役割を共有する機会を定期的に設けてまいります。 ・OJTや振り返りの時間を通して、支援の質を向上するための取り組みを行ってまいります。
2	支援室が広くパーテーションで区切っていますが、声が響くことで学習中のお子様の集中力半減につながっている可能性があります。	・施設内が開放的な空間づくりになっており、空間を明確に分けることが難しいです。	・学習の時間を確保し、落ち着いて活動をすることができるよう工夫してまいります。
3	・保護者様同士の交流の機会を設けたいと考えておりますが、実施できておりません。	・令和7年7月に開所したこともあり、まだ事業所として交流の機会を体系的に設けるまでには至っておりません。	・必要性や状況を見ながら、情報共有や交流の機会について段階的に検討してまいります。